

## 自己点検・自己評価 — 2022年度 —

### 自己点検・自己評価の取り組み

本校では教育理念を基に養成所としての教育の質の維持・向上を図ることを目的に、自己点検・自己評価を組織全体で行っています。2022年度は7回目の実施となり、結果を学校運営にフィードバックするよう努力しています。その結果を取りまとめましたので報告いたします。

### 自己点検・自己評価結果

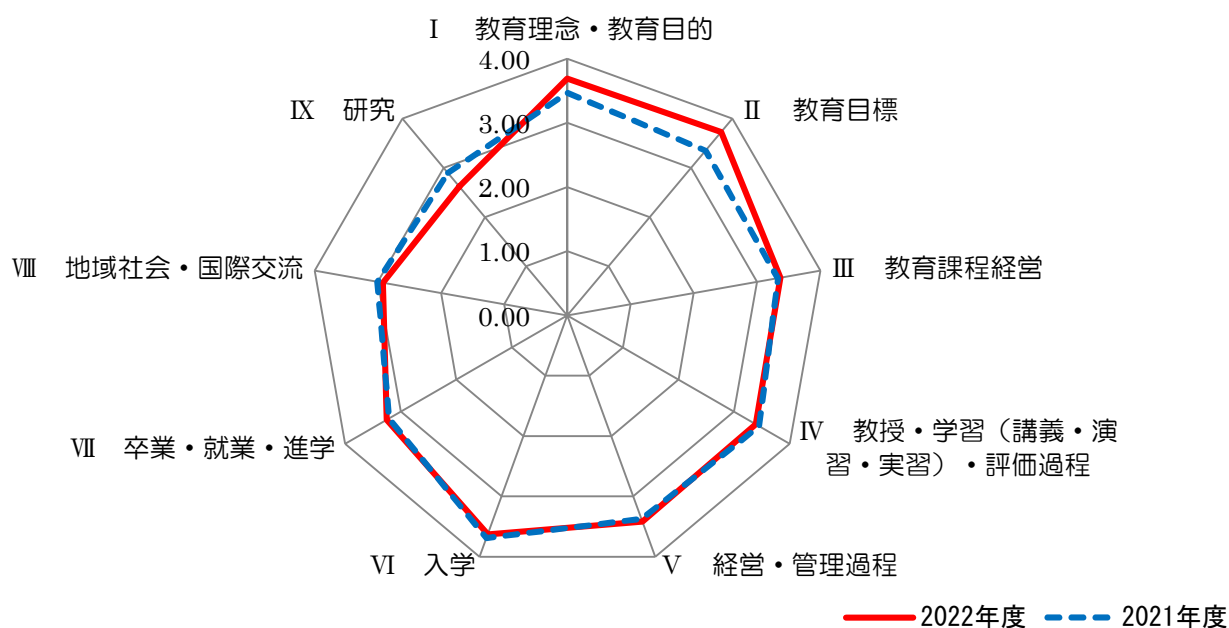
【評価期間】 2022年9月26日(月)～9月30日(金)

【対象人数】 常勤職員 14名  
回収率：92.9%（回答率 100%）

【評価方法】 評価は4段階とし点数化し集計、平均値を表した。  
A：そう思う(4点)、B：ややそう思う(3点)……………肯定的評価  
C：あまりそう思わない(2点)、D：そう思わない(1点)……………否定的評価  
※平均値 3.0点を基準ラインとし結果を分析した。

#### 【評価結果】

大項目	小項目数	2022年度	2021年度
I 教育理念・教育目的	8	3.69	3.47
II 教育目標	6	3.73	3.35
III 教育課程経営	29	3.37	3.33
IV 教授・学習（講義・演習・実習）・評価過程	17	3.39	3.45
V 経営・管理過程	36	3.42	3.37
VI 入学	4	3.63	3.69
VII 卒業・就業・進学	7	3.25	3.21
VIII 地域社会・国際交流	7	2.92	3.01
IX 研究	3	2.62	2.90
合計	117	—	—



## 結果と分析

前回と比較して大幅に評価の増減は見られなかった。

評価大項目 I・II・III・V が微増となった理由として、評価者の入れ替えがあったこと、旧カリキュラムから新カリキュラムへと移行期ではあるが、新カリキュラム構築時に創設した3つのポリシー（アドミッションポリシー、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー）や「学則の目的」変更内容が教職員に浸透していった結果と考える。

次年度は、新カリキュラム開始2年目となる環境のため、自己点検・自己評価の結果を踏まえ、課題抽出とその対応を行っていきたい。